

佐倉市・酒々井町 選出

千葉県議会議員

市民ネットワーク

川口 えみ 県政レポート



2025年1月発行



質問録画は
こちらから ▶



11月26日 議会質問しました！自己肯定感をはぐくむ教育を

●管理教育からのびのび教育へ ～東成瀬村の教育を親子で体験～

「学力日本一の村」として有名な秋田県東成瀬村の夏休み親子短期チャレンジ留学に参加しました。東成瀬村は秋田県の南東の端にあり、冬は2mも雪が降る村です。訪れてみると、先生はじめ大人たちがとても優しく、自然体で、子どもたちを笑顔で見守っています。私の娘も「全然怒らないね」とびっくり。千葉県内の学校では、「掃除は喋らずやる・黙働」が数十年指導され、コロナ禍のときの給食は「黙食」など、我慢を強いられた子ども達。自己肯定感を育む伸びやかな教育で、学力も向上し不登校も減ると考えます。校則以外の明文化されないルールの見直しを強く求めました。



話し合いながら課題解決する「探求型授業」を、親子で体験しました。

●セーフティネットの充実を

住居のない困窮者の緊急シェルター

設置は県内6市のみで佐倉市もありません(町村は県設置)。市に設置を促すとともに、民間団体への財政支援を訴えました。

困難な問題を抱える若年女性への支援

夜間見回り(アウトリーチ)やLINE相談、居場所の提供を8月から開始。船橋駅、津田沼駅、千葉中央公園などで、日用品や相談カード配布と悩み事相談をしています。

●PFASと自衛隊基地

7月に、県は周辺3市と、下総基地への立入調査を実施しましたが、「排水路の状況など不明」と答弁。しかし、10月の環境常任委員会で追及すると、「基地内の排水口が外部の水路と繋がっている」ことを認めました。直後、基地南東部で42000ng/L(暫定指針値の840倍)のPFASを検出。12月県議会で、住民の血液検査や土壌調査を求めました。

●学校での性暴力

学校で性暴力被害が起きたとき、教員が迅速・的確に対応できるよう、研修の充実や、わかりやすい「性暴力対応マニュアル」の作成を提案し、関係機関と連携して検討すると前向きな答弁を得ました。さらに、高校では性被害を防ぐための「デートDV予防講座」を、誰もが在学3年間に1度は受けられるよう求めました。

熊谷知事と意見交換

毎年恒例の熊谷知事との意見交換会を実施しました(県民20名参加)。

内容は、幕張メッセ武器見本市、自衛隊 PFAS 問題、避難所の空調設備、高校の「居場所カフェ」の継続など、13項目です。平行線となる項目もありますが、今後も知事との対話の機会を設け、市民の声を届けていきます。



13項目は
こちらから ▶



川村記念美術館が移転

DIC川村記念美術館の存続を求めて多くの署名が集まり(12/9現在58131筆)、閉館は当初の1月から、3月下旬に延期されました。

10月の環境生活常任委員会で、存続に向けたサポートを県に要望。知事も「千葉県にとって貴重な文化遺産」と、存続を熱望しましたが、残念ながら、東京への移転が決まりました。



王子台の危険な道路

市民の方から、王子台の危険な道路について連絡があり、早速、市議と共に県警にヒアリングをしました。

問題の道路(赤線)は、水道道路への抜け道になっており、スピード規制はありません。(青い道路は30km規制)今後も改善を要望していきます。



○先生の過労死裁判に参加して

2013年12月、佐倉市教育委員会の指導主事だった○先生が、異常な業務集中の末、自ら命を絶たれました。2022年、遺族が佐倉市教育委員会を提訴。裁判では、当時の教育長のパワハラも指摘されています。千葉県の教員の人権と職場環境改善に向け、署名活動や裁判傍聴などに取り組んでいます。次回裁判は3月11日(火)14時千葉地裁にて。



大阪・関西万博 千葉県ブース4日間で3500万円!

千葉県は、醤油や味噌など千葉県の発酵文化をテーマに、大阪・関西万博に出展予定です。大屋根リング外側の企業や自治体向けEXPOメッセ内です。出展の企画・運営の民間委託費として、**3500万円**が9月県議会上に上程されましたが、出店はわずか4日間だけ。これとは別に、万博協会に支払う出展手数料の額は不明、出展を取りやめる際のキャンセル料も不明で、今後いくらかかるか心配です。

万博会場となる夢洲(ゆめしま)は、1977年から、大阪市内の廃棄物や、海底を浚渫した土砂などで埋立てられた人工の島です。そもそもの目的が廃棄物の埋め立てのため軟弱地盤で、44年間で4.8m沈下。昨年3月にメタンガス爆発がありましたが、専門家は会場内のどこにでも爆発の可能性があるとして指摘。危険で高額な万博から、撤退すべきと反対しました。



食料危機 がやってくる!?

日本の農業の危機について、鈴木宣弘東京大学特任教授の講演会で学びました。

日本の食料自給率は38%。しかし、タネや肥料の9割を輸入に頼っていることを考慮すると、自給率はわずか**9%**です。

もし、日本が戦争に巻き込まれれば、たちまち輸入が途絶え国民は飢えると予測されています。軍事費よりも食べ物を。農業・酪農などへの所得補償をし、食料自給率を高めるための政策が必要です。千葉県で地産地消を進め、安全な有機農業を推進するよう、今後も議会で訴えていきます。

(12/14)



鈴木教授と

困窮者支援 年末炊き出し

「反貧困ささえあい千葉」恒例の年末炊き出し相談会に参加。生活保護利用者や、支援する市民など大勢が集まり、豚汁やつきたて餅を楽しみました。コロナ禍で始まったこの活動も丸5年。現場で見えてきた課題を集め、千葉県の困窮者支援の施策に反映させていきます。(12/30)



オンライン 講演会 ホームレス支援最前線 ~28年間の活動から見えてきたこと~
2月27日(木)18:00~19:30 講師:副田一朗さん(ガンバの会)

千葉県警察音楽隊



11月12日、そごう千葉店前での「女性に対する暴力をなくす運動」街頭キャンペーン、11月30日定期演奏会を視察し、素晴らしい演奏を県民に届ける力を実感。12月警察常任委員会で県民への更なる周知を要望しました。活動予定は県警HPに掲載されています。



ケアリーバー（児童養護施設等退所者）への支援

親などからの虐待で深く傷つけられた子どもたちは、人間関係や社会性を築きにくく、18歳で児童養護施設を出た後、孤立や困窮することが多く、支援の充実が課題となっています。千葉県では、昨年からは進学者へ返済不要の給付金制度等が開始。

さらなる充実を求め県議会で質問し、ちばアフターケアネットワークステーション(CANS)、世田谷区のフェアスタート事業を視察しました。(12/23)

保坂政治スクール

第8・9期に参加し、ケアリーバーの若者や、校則をなくした中学校の元校長などから、若者支援、子どもの人権、公契約条例など「国より先に、やりました」という世田谷区の取組を直接学びました。



保坂展人区長と

女性への暴力をなくす



DVや性暴力など、あらゆる女性や子どもへの暴力をなくすよう、また最大の暴力である戦争を二度と起こしてはならないと、JR千葉駅前でも訴えました。(12/24)

ケアリーバー 進学者への支援		
	千葉県(奨学金以外は県協貸付)	世田谷区(生活支援以外は給付)
奨学金	年30万円(返済不要)	年50万円
生活支援	月5万円(社協の貸付・要返済)	月5万円(社協の貸付・要返済)
家賃支援	4万6千円以内、在学期間(社協貸付・要返済)	月3万円、在学期間区営住宅を廉価で
資格取得	25万円(社協貸付・要返済)	運転免許30万円 その他1資格最大10万円

川口えみのプロフィール

- ◆1979年秋田市生まれ 秋田南高校英語科・都留文科大学国文学科卒業
- ◆生活クラブ生協佐倉ブロック運営委員を経て、2019年佐倉市議初当選
- ◆2023年千葉県議会議員初当選(現在1期目) 環境生活警察常任委員会、
- ◆市民ネットワーク千葉県共同代表、家族は、夫と長女(12歳)、柴犬
- ◆小中高は吹奏楽部(小:コルネット→中・高:フルート)。大学はスピードスケート部 顧問不在の中、仲間と試行錯誤を繰り返す練習。

連絡先 市民ネットワーク千葉県

〒260-0013 千葉県千葉市中央区4-10-11 アイビル4F
電話・FAX 043-201-1051
mail: info@chiba-kennet.com

